

ショパニスト S 部門

みなさま、お疲れ様でした！

音の質は、解釈する上で最も重要な要素の一つです。歌うような音色を称賛していたショパンの音楽では特に大切です。選曲は、演奏者の技術力や表現力に見合ったものでなければなりません。時々、演奏者にとって少しレベルが高すぎる曲目を選曲されているように見受けられました。楽譜に書いてある通りの正しい音で弾くことに気を付けてください。著しい音の間違いがたくさんある演奏もありました。これは特定の版の問題について述べているわけではなく、楽譜をしっかりと確認していなかったことから起こってしまった基本的な和声やリズムの間違いについてです。

参加された皆様がそれぞれ多様な社会生活の中でショパンのピアノ曲を敬愛し、研鑽されている姿に感動します。ご自分の愛着ある楽曲に真摯に取り組まれていました。その中で、適切な選曲と準備をもって余裕ある演奏の方と多少背伸びした選曲のために弾くだけで一杯いっぱい演奏になった方との違いがありました。時間をかける取り組みも必要ですがステージ経験の積み重ねも大きな支えになりますので、今後も積極的に取り組んでいただきたいと思います。

ショパンを愛される方々がそれぞれの思い入れがある曲を選択、その自己の表現が伝わってくるのはやはりさすがに全国大会へ進まれた方々だと思いました。ショパンの音楽表現には不可欠な「テンポの動かし」があります。古典派の音楽とはそこが大きく異なります。それが如何に自然であり聞き手に違和感がない事が大切だと感じました。しかしながら rit. した後には必ずテンポの戻しが必要です。前後にちぐはぐのないよう、そこに音楽的センスが要求されるのです。過去の優れたショパン弾き(ピアニスト)の名演奏を参考に、ますます深めた音楽性の研究をなさってください。そして香って来るようなピアニストの音色に憧れて、その為のタッチを研究されると良いでしょう。

日々真剣に取り組んでいる様子が伺えるような演奏ばかりでした。参加者の年齢を思うと感服するしかありません。体力や運動機能がいつまでも維持されるよう今後さらに研究(指導者も含め)を深めて欲しいと思います。

個性豊かな演奏が多く飽きずに聞けました。テクニックがあと一歩足らず、Chopin の表現まで至らない演奏者も居らっしゃいました。

皆さんショパンの曲が大好きで熱心に演奏されていることを嬉しく思いました。こんなにもコンクールにエネルギーをそそいで頂くことはすばらしいです。大曲になればなる程、技術面は非常に難しく、体の使い方に至る基礎力を要求されます。自分の技術についてももう少し分析して選曲を無理なく余裕をもって表現出来るものにされて、ショパンの音楽を深く味わって頂きたいと節に感じました。沢山ピアノの曲があるので、もっとその良さも知って頂き、よりショパンについて(ポーランドの舞曲などをもっと)演奏して頂けることを願います。コロナ禍で動画を撮ると新しい発見も沢山有りますね。